

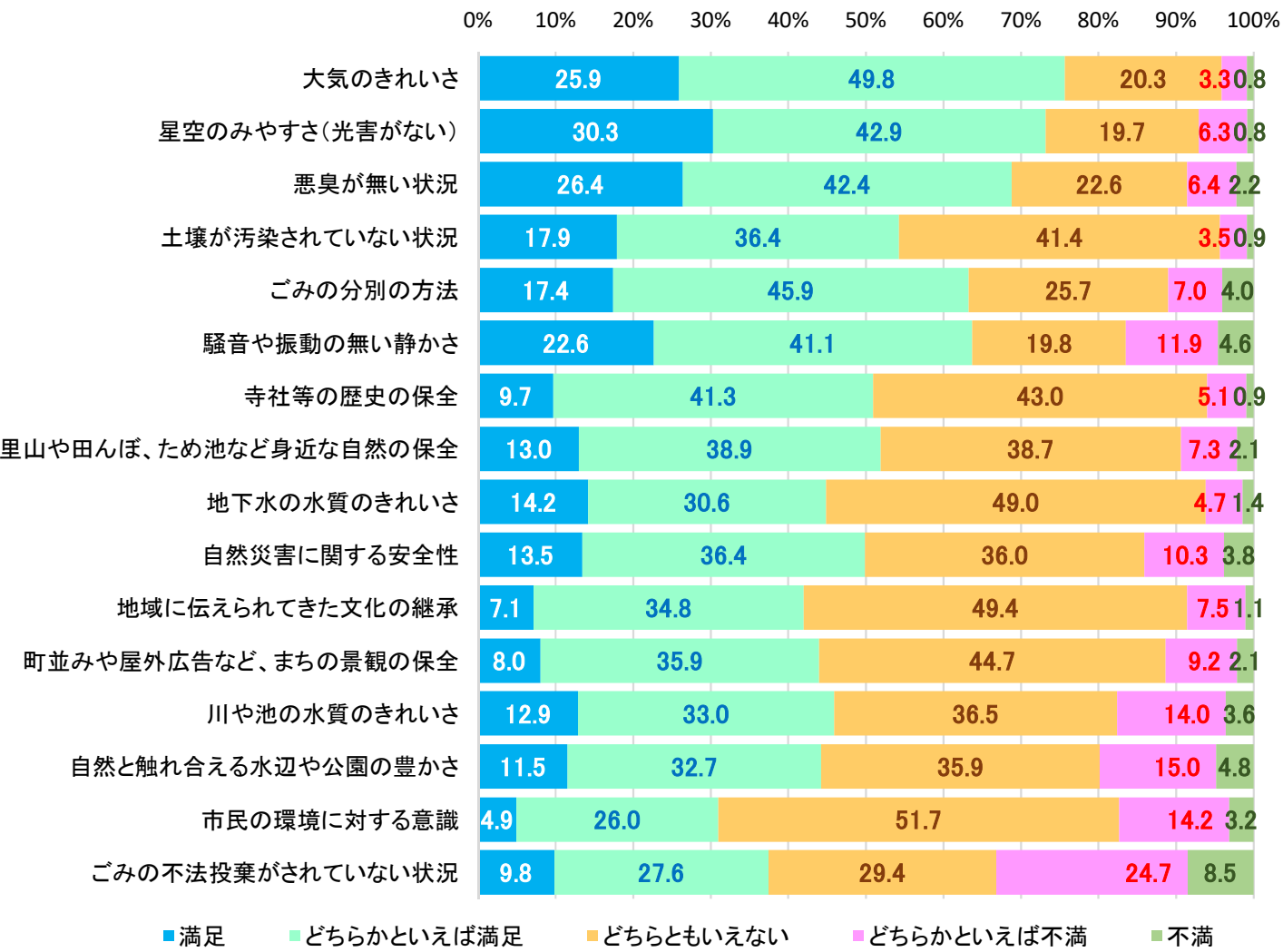
【 資 料 3 】

令和 2 年度第 1 回 環境審議会
令和 3 年(2021 年)3 月 29 日

甲賀市政に関する意識調査結果

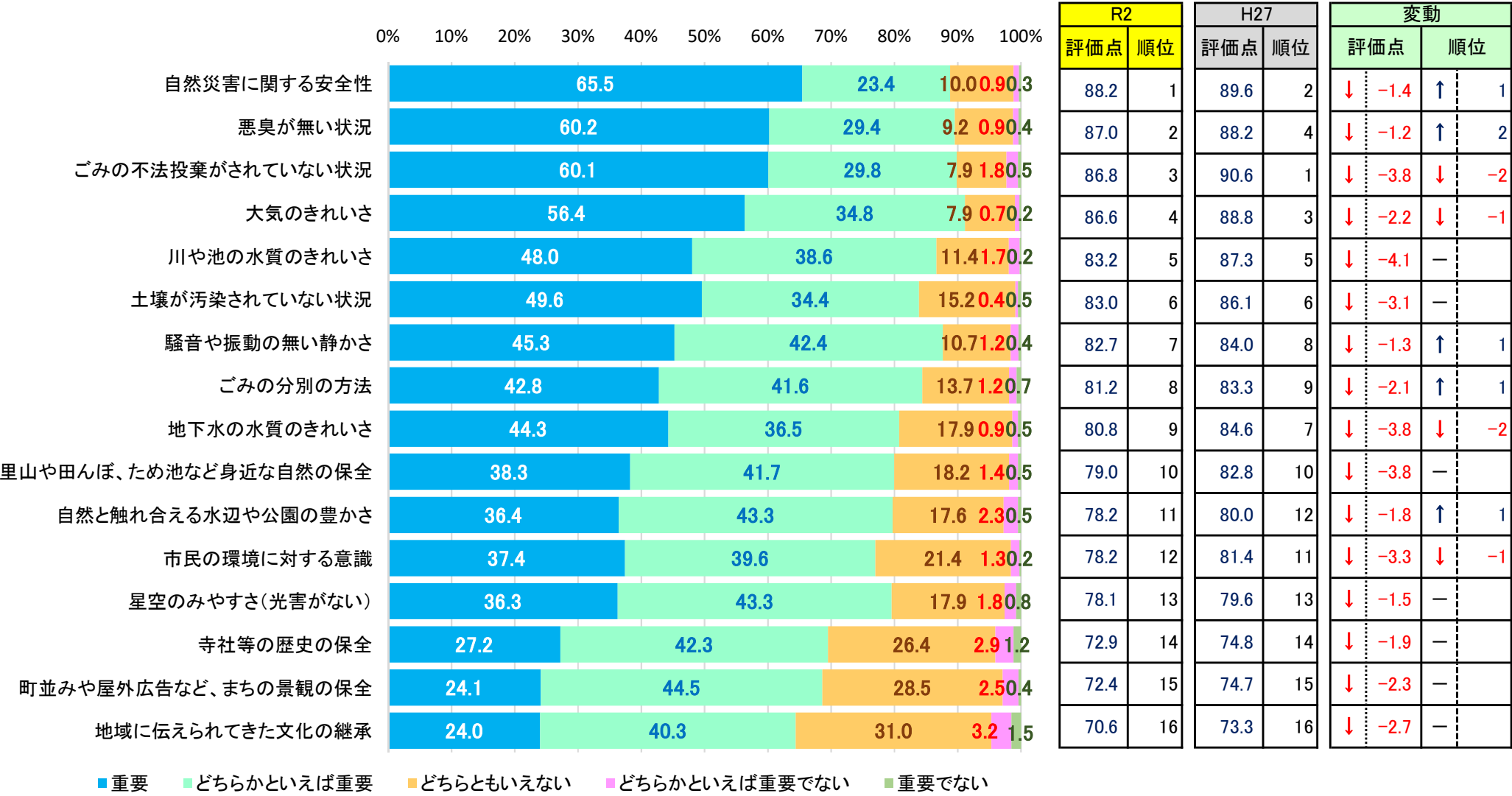
- ・ 環境に関する結果
- ・ 意識調査票（アンケート用紙）
- ・ 甲賀市市政に関する意識調査報告書

環境に関する満足度

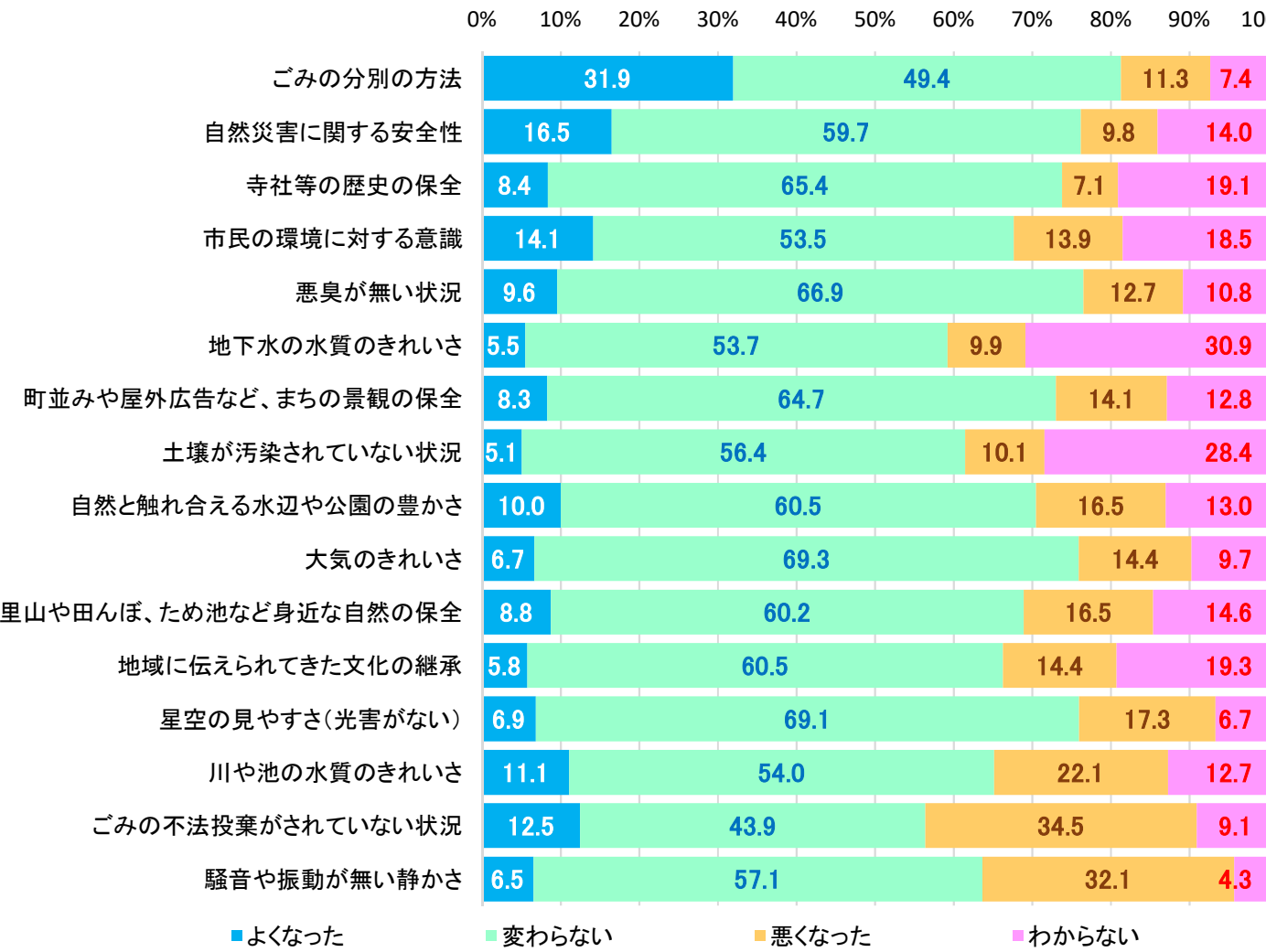


R2		H27		変動			
評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位		
74.1	1	68.6	2	↑ 5.5	↑	1	
73.9	2	75.0	1	↓ -1.1	↓	-1	
71.1	3	68.1	3	↑ 3.0	—		
66.7	4	63.3	4	↑ 3.4	—		
66.4	5	61.1	5	↑ 5.3	—		
66.3	6	59.7	6	↑ 6.6	—		
63.4	7	59.3	7	↑ 4.1	—		
63.3	8	57.5	9	↑ 5.8	↑	1	
62.9	9	58.6	8	↑ 4.3	↓	-1	
61.4	10	54.3	11	↑ 7.1	↑	1	
59.9	11	55.8	10	↑ 4.1	↓	-1	
59.6	12	53.0	12	↑ 6.6	—		
59.4	13	51.7	13	↑ 7.7	—		
57.8	14	50.0	14	↑ 7.8	—		
53.8	15	48.7	15	↑ 5.1	—		
51.4	16	47.1	16	↑ 4.3	—		

環境に対する重要度

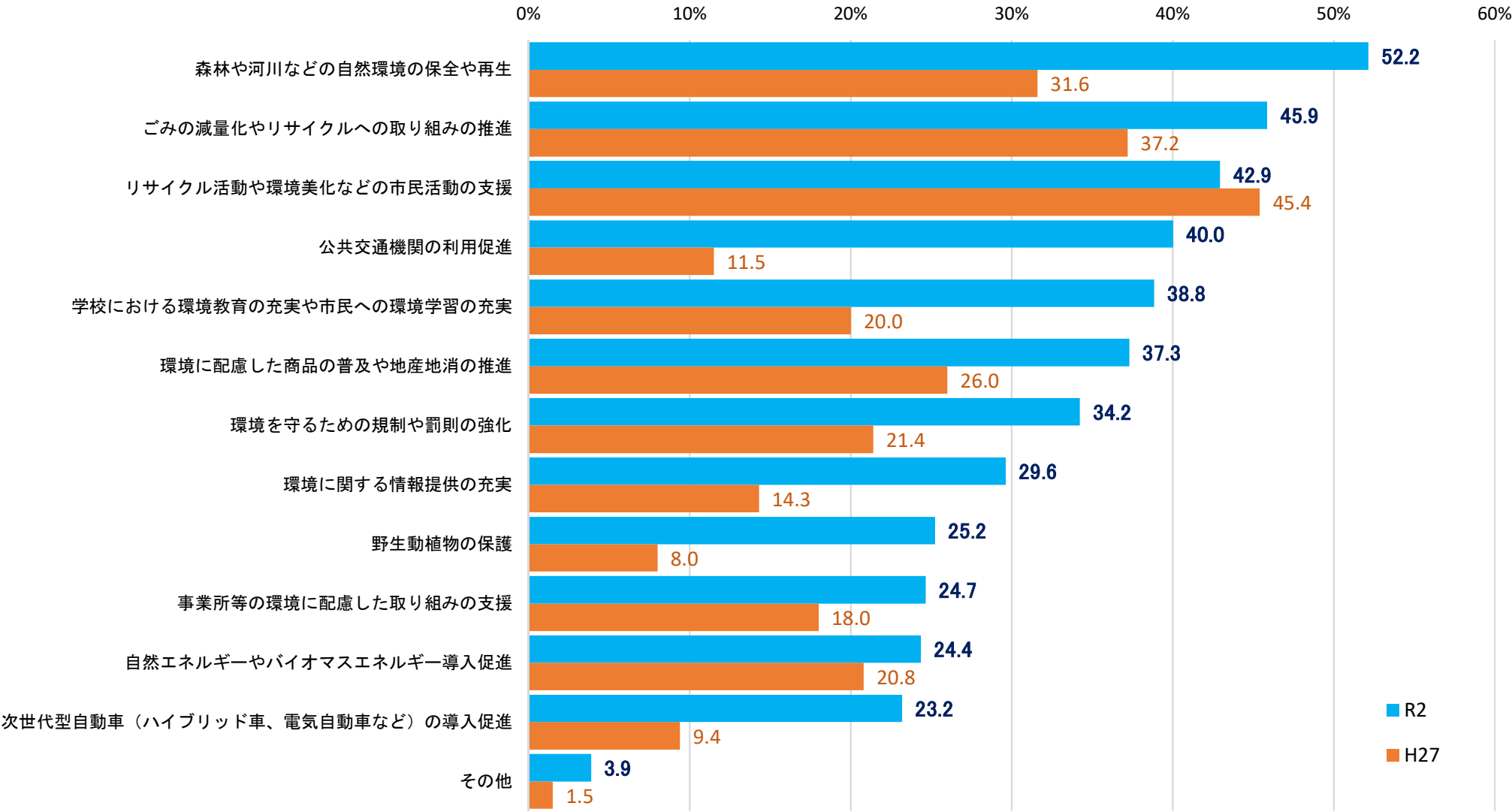


近年の環境の変化



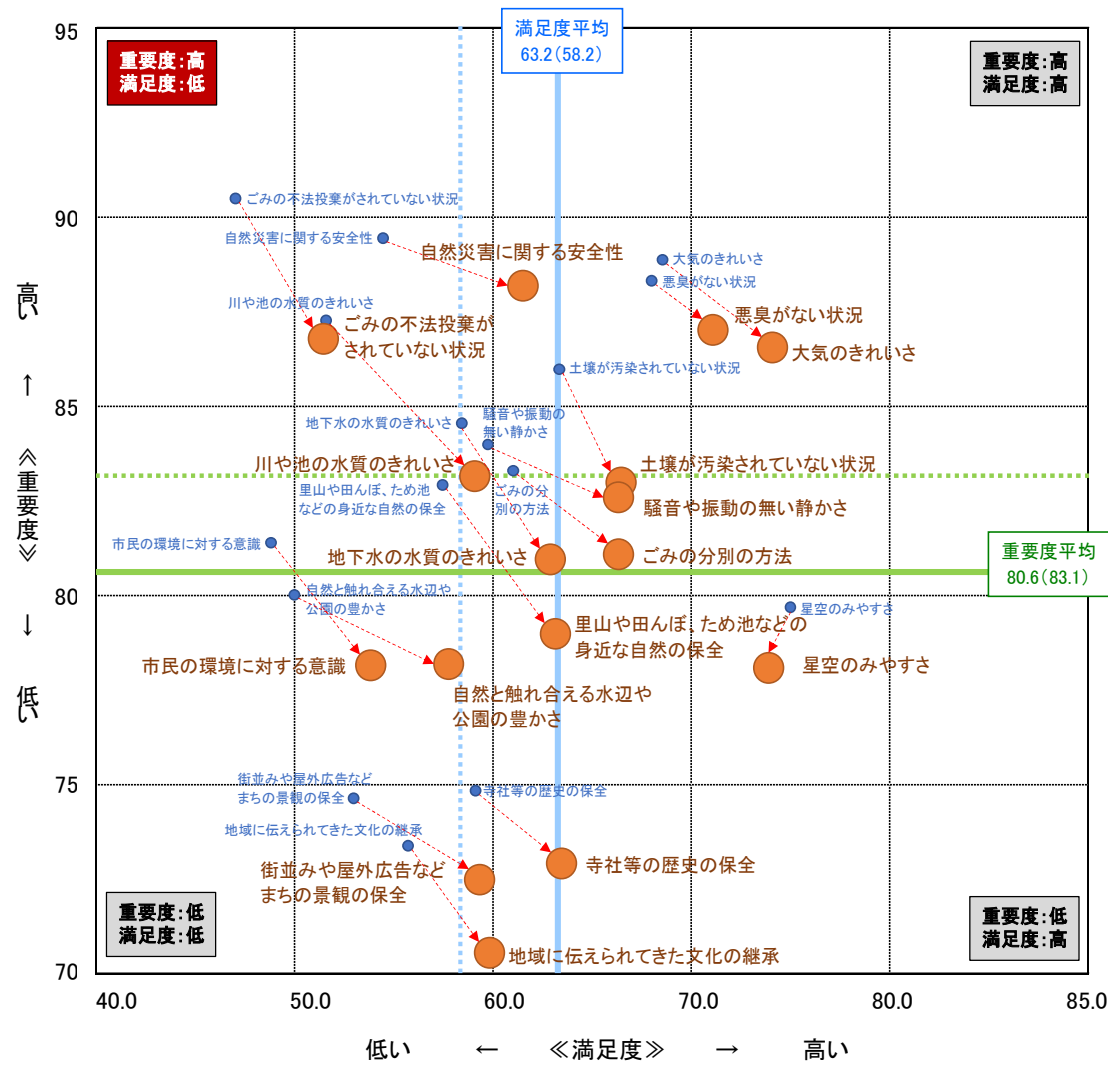
R2		H27		変動	
評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
61.1	1	64.5	1	↓ -3.4	—
53.9	2	52.5	3	↑ 1.4	↑ 1
50.8	3	51.6	4	↓ -0.8	↑ 1
50.2	4	52.7	2	↓ -2.5	↓ -2
48.3	5	49.2	5	↓ -0.9	—
46.8	6	47.3	8	↓ -0.5	↑ 2
46.6	7	46.3	11	↑ 0.3	↑ 4
46.5	8	47.4	7	↓ -0.9	↓ -1
46.3	9	45.5	13	↑ 0.8	↑ 4
45.7	10	45.0	14	↑ 0.7	↑ 4
45.5	11	46.1	12	↓ -0.6	↑ 1
44.6	12	46.6	10	↓ -2.0	↓ -2
44.4	13	47.2	9	↓ -2.8	↓ -4
43.7	14	48.3	6	↓ -4.6	↓ -8
37.9	15	37.1	15	↑ 0.8	—
36.7	16	35.5	16	↑ 1.2	—

市に取り組んでほしい施策



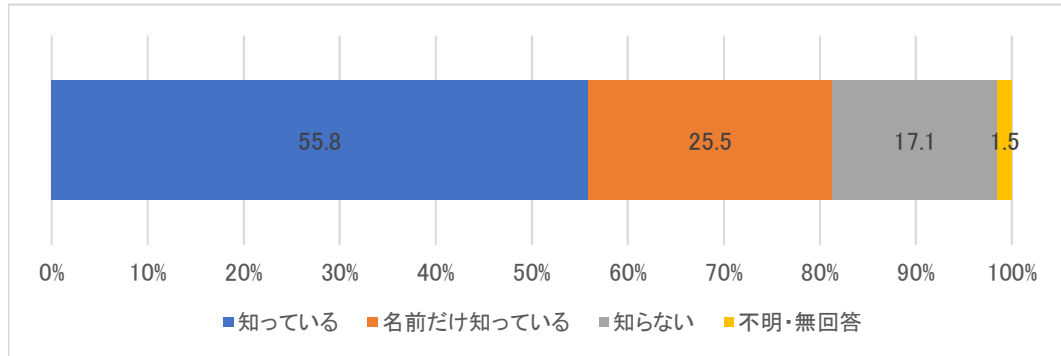
※回答数について:平成27年調査は「3つまで」／令和2年調査は「いくつでも」

市民ニーズ

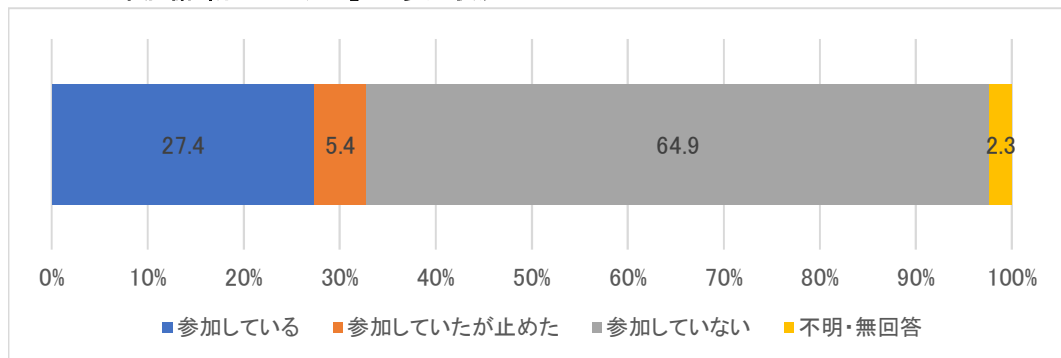


	R2		H27		変動			
	点数	順位	点数	順位	評価点	順位		
ごみの不法投棄がされていない状況	42.2	1	48.0	1	↓ -5.8	—		
市民の環境に対する意識	36.1	2	41.8	3	↓ -5.7	↑	1	
自然災害に関する安全性	34.1	3	40.9	4	↓ -6.8	↑	1	
川や池の水質のきれいさ	33.8	4	42.2	2	↓ -8.4	↓	-2	
自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ	33.0	5	40.0	5	↓ -7.0	—		
地下水の水質のきれいさ	30.0	6	35.1	7	↓ -5.1	↑	1	
町並みや屋外広告など、まちの景観の保全	29.2	7	35.1	7	↓ -5.9	—		
里山や田んぼ、ため池など身近な自然の保全	29.0	8	35.2	6	↓ -6.2	↓	-2	
地域に伝えられてきた文化の継承	28.3	9	32.4	10	↓ -4.1	↑	1	
騒音や振動の無い静かさ	27.9	10	33.8	9	↓ -5.9	↓	-1	
土壌が汚染されていない状況	27.6	11	31.6	12	↓ -4.0	↑	1	
ごみの分別の方法	27.3	12	32.4	10	↓ -5.1	↓	-2	
寺社等の歴史の保全	26.7	13	30.5	13	↓ -3.8	—		
悪臭が無い状況	25.2	14	28.1	14	↓ -2.9	—		
大気の手きれいさ	22.4	15	27.9	15	↓ -5.5	—		
星空のみやすさ(光害がない)	20.4	16	19.9	16	↑ 0.5	—		

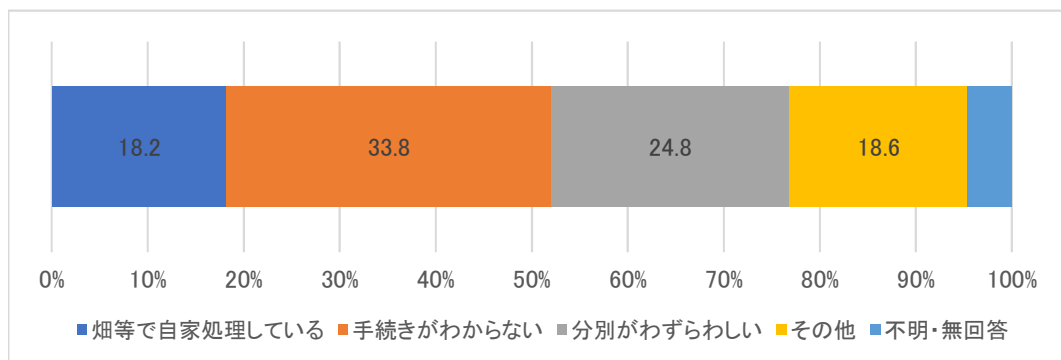
「生ごみ堆肥循環化システム」の認知状況



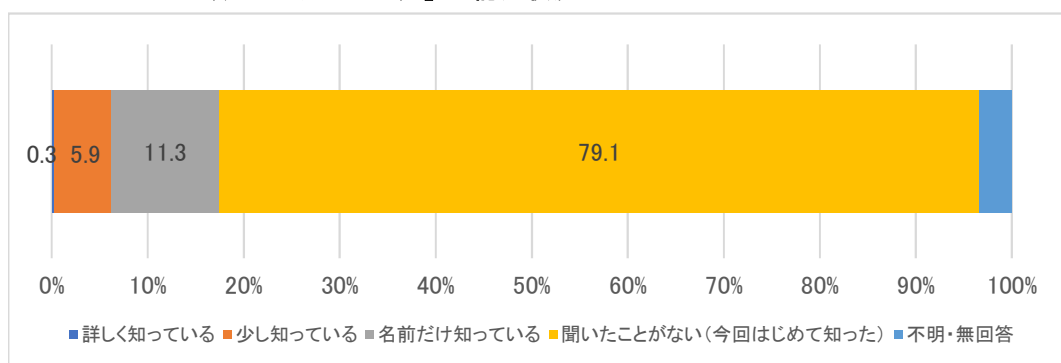
「生ごみ堆肥循環化システム」の参加状況



「生ごみ堆肥循環化システム」に参加していない理由



「COOL CHOICE（クールチョイス）」の認知状況



甲賀市市政に関する意識調査

= ご協力のお願い =

※上記の ID 及びパスワードは無作為に割当てたものであり、個人を特定するものではありません

日ごろから甲賀市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、まちづくりの主役である市民の皆様の思いや願いをしっかりと受け止め、市政に活かしていくため、「市政に関する意識調査」を実施します。

いただいたご意見等は、高齢者から若者、子どもまで、健康でいきいきと活躍できる地域をつくるための大切な基礎資料とさせていただきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年(2020年)9月

甲賀市長 **岩永 裕貴**

ご回答にあたってのお願い

■ 令和2年9月15日(火)までに、ご回答をお願いします。

- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。
※お名前のご記入は不要です。
- ご回答は本調査票またはインターネット回答(同封のインターネット回答操作案内参照)のどちらか一方のみにてお願いします。
- 今回の調査は、無作為に選ばせていただいた市内にお住まいの16歳以上の方3,000人を対象に実施しています。
- この調査は、個人を対象としていますので、お送りした封筒に書かれているあて名の方ご自身がご回答ください。(ご本人による回答が困難な場合は、ご家族等の方がご本人から聞き取って代筆ください。)
- この調査の回答は、無記名でお願いしています。回答いただいた内容は、統計的に処理しますので、内容が外部にもれたりしてご迷惑をおかけすることはありません。安心してご回答ください。
- 回答いただく調査票は、次のページからとなります。回答は、問1から問31まで順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○印をつけてください。
- 回答したくない設問については、お答えいただかなくて結構です。

- ・ 甲賀市をより良いまちにするために調査にご協力ください。わからない事があれば下記へご連絡ください。
- ・ Please cooperate with our survey to make Koka City a better town. Please call this number as follows, if you have any questions.
- ・ 고카시를 보다 좋은 도시로 만들기 위한 조사에 협력해 주십시오. 모르는 것이 있으시면 다음으로 연락해 주십시오.
- ・ 为了把甲贺市变成更好的城市, 请协助调查. 如果有不明白的地方, 请联系以下地址.
- ・ Pedimos sua colaboração em relação a esta pesquisa, para fazer da Cidade de Koka uma cidade melhor.
- ・ Em caso de dúvidas, favor entrar em contato pelo telefone descrito abaixo.
- ・ Por favor coopere con la encuesta para hacer de la Ciudad de Koka una ciudad mejor. Si tuvieran alguna duda, pueden llamar al número de teléfono que figura en la parte de abajo.

【本調査に関する問合せ先】

甲賀市総合政策部 秘書広報課 TEL 0748-69-2101(直通) FAX 0748-63-4619

1. あなたご自身のことについておたずねします

＜問1＞ あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----|-----|-------|
| 1 男 | 2 女 | 3 その他 |
|-----|-----|-------|

＜問2＞ あなたの年齢は、9月1日現在でいくつですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 16～17歳 | 2 18～19歳 | 3 20～24歳 |
| 4 25～29歳 | 5 30～34歳 | 6 35～39歳 |
| 7 40～44歳 | 8 45～49歳 | 9 50～54歳 |
| 10 55～59歳 | 11 60～64歳 | 12 65～69歳 |
| 13 70～74歳 | 14 75歳以上 | |

＜問3＞ あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1 <small>みなくち</small>
水口地域 | 2 <small>つちやま</small>
土山地域 | 3 <small>こうか</small>
甲賀地域 |
| 4 <small>こうなん</small>
甲南地域 | 5 <small>しがらき</small>
信楽地域 | |

＜問4＞ あなたは、いつから甲賀市にお住まいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 生まれてからずっと甲賀市に住んでいる | 2 甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した |
| 3 市外で生まれて甲賀市に転入した | |

＜問4-1＞ 問4で「2」または「3」と回答された方におたずねします。
甲賀市に転入後、何年ぐらいになりますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|------------|---------|
| 1 3年未満 | 2 3年～10年未満 | 3 10年以上 |
|--------|------------|---------|

＜問5＞ あなたの世帯(同居)はどのような構成ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|------------------|--------------|
| 1 単身(あなた1人) | 2 あなたと配偶者(パートナー) | 3 二世帯世帯(親・子) |
| 4 三世帯世帯(親・子・孫) | 5 その他() | |

＜問5-1＞ 問5で「3・4・5」のいずれかに回答された方におたずねします。
就学前または就学しているお子様・お孫様(同居)はおられますか。
(あてはまるものすべてに○) ※別居されているお子様・お孫様は含みません

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1 2歳以下 | 2 3歳～小学校入学前 |
| 3 小学生 | 4 中学生 |
| 5 高校生 | 6 専門学校生・短大生・予備校生・大学生(大学院生) |
| 7 就学前または就学している子どもはいない | |

＜問6＞ あなたはどのようなご職業等ですか。(○は1つだけ)

1 会社員	2 公務員	3 自営業
4 パート・アルバイト	5 専業主婦・主夫	6 学生
7 無職	8 その他()	

＜問6-1＞ 問6で「1～4・6」のいずれかに回答された方におたずねします。

あなたの主な勤務地(通学地)はどちらですか。(○は1つだけ)

1 自宅	2 甲賀市内
3 甲賀市以外の滋賀県内の市町	4 県外

2. 環境保全についておたずねします

＜問7＞ あなたが住んでいる地域周辺の現在の環境について、あなたの「満足度」と「重要度」についておたずねします。以下の①～⑫のそれぞれの項目について、右の欄の1～5の中からあなたの満足度合い、重要度合いに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

	満足度					重要度				
	1 満足	2 どちらか といえば満足	3 どちらとも いえない	4 どちらか といえば不満	5 不満	1 重要	2 どちらか といえば重要	3 どちらとも いえない	4 どちらか といえば重要でない	5 重要でない
① 川や池の水質のきれいさ	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
② 大気のきれいさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 星空の見やすさ(光害がない)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 騒音や振動が無い静かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 地下水の水質のきれいさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 土壌が汚染されていない状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 悪臭が無い状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ ごみの不法投棄が されていない状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ ごみの分別の方法	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 自然災害に関する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 里山や田んぼ、ため池など 身近な自然の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 自然と触れ合える 水辺や公園の豊かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

《問7 のつづき》	まんぞくど 満足度					じゅうようど 重要度				
	1 満足	2 どちらか いえば満足	3 どちらとも いえない	4 どちらか いえば不満	5 不満	1 重要	2 どちらか いえば重要	3 どちらとも いえない	4 どちらか いえば重要でない	5 重要でない
⑬ 町並みや屋外広告など、 まちの景観の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭ 寺社等の歴史の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑮ 地域に伝えられてきた 文化の継承	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑯ 市民の環境に対する意識	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

《問8》 現在の住所に10年以上お住まいの方におたずねします。

あなたの住む地域周辺の状況は、10年前と比べてどう変わりましたか。各項目について、
あなたのお考えに近い番号に○をそれぞれ1つつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 よくなった	2 変わらない	3 悪くなった	4 わからない
① 川や池の水質のきれいさ	1	2	3	4
② 大気 たいき のきれいさ	1	2	3	4
③ 星空 ほしかり の見やすさ(光害 ひかりがい がない)	1	2	3	4
④ 騒音 そうおん や振動 しんどう が無い静かさ	1	2	3	4
⑤ 地下水の水質のきれいさ	1	2	3	4
⑥ 土壌 どじょう が汚染 おせん されていない状況	1	2	3	4
⑦ 悪臭 あくしゅう が無い状況	1	2	3	4
⑧ ごみの不法投棄 ふほうとうき がされていない状況	1	2	3	4
⑨ ごみの分別の方法	1	2	3	4
⑩ 自然災害に関する安全性	1	2	3	4
⑪ 里山や田んぼ、ため池など身近な自然の保全	1	2	3	4
⑫ 自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ	1	2	3	4
⑬ 町並みや屋外広告など、まちの景観の保全	1	2	3	4
⑭ 寺社等の歴史の保全	1	2	3	4
⑮ 地域に伝えられてきた文化の継承	1	2	3	4
⑯ 市民の環境に対する意識	1	2	3	4

「問9」 あなたは、環境保全を推進するために、今後甲賀市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	リサイクル活動や環境美化などの市民活動の支援
2	事業所等の環境に配慮した取り組みの支援
3	環境を守るための規制や罰則の強化
4	環境に配慮した商品の普及や地産地消の推進
5	野生動植物の保護
6	森林や河川などの自然環境の保全や再生
7	ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進
8	自然エネルギーやバイオマスエネルギー導入促進
9	公共交通機関の利用促進
10	次世代型自動車(ハイブリッド車、電気自動車など)の導入促進
11	学校における環境教育の充実や市民への環境学習の充実
12	環境に関する情報提供の充実
13	その他()

「問10」 あなたは、「生ごみ堆肥循環化システム」という取り組みをご存知ですか。(○は1つだけ)

1 知っている	2 名前だけ知っている	3 知らない
---------	-------------	--------

「問11」 あなたは、「生ごみ堆肥循環化システム」に参加されていますか。(○は1つだけ)

1 参加している	2 参加していたが止めた	3 参加していない
----------	--------------	-----------

「問12」 問11で「2・3」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたが参加されていないのはどのような理由からですか。(○は1つだけ)

1 畑等で自家処理している	2 手続きがわからない
3 分別がわずらわしい	4 その他()

「問13」 あなたは、「COOL CHOICE(クールチョイス)」という取り組みをご存知ですか。
(○は1つだけ)

1 詳しく知っている	2 少し知っている
3 名前だけ知っている	4 聞いたことがない(今回はじめて知った)

3. ICT政策(情報通信技術)についておたずねします

「問14」 あなたが、市が進めるICT政策(情報通信技術)で期待する役割・分野はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 電子申請、公共施設のオンライン予約など市役所窓口の電子化 |
| 2 公共交通や市内店舗でのキャッシュレス利用、Wi-Fi整備など日常生活における利便性向上 |
| 3 子どもや高齢者の見守り、防災、防犯など安全・安心の向上 |
| 4 子ども向けプログラミング教室や高齢者向け相談会の実施など、ICTを学べる機会の提供 |
| 5 その他() |

「問15」 あなたは、ICTで暮らしが快適になったり、便利になっている実感がありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 いつも実感している | 2 時々実感している |
| 3 あまり実感していない | 4 全く実感がない |

「問16」 あなたが、パソコンやスマートフォン等による行政サービスで利用したいと思われるものはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 電子申請など市役所窓口への来庁が不要な行政サービス |
| 2 SNS(LINEなど)を活用した相談や問い合わせ |
| 3 予約や支払をスマートフォンで行ったり、自動運転など高度な技術を活用した交通システム |
| 4 ロボットを活用した高齢者の見守りサービス |
| 5 スマートフォンやマイナンバーカードを活用し、イベント参加や地域活動へのポイント付与 |
| 6 その他() |

「問17」 あなたのご家庭では、音声放送端末やあいコムこうかのサービスに加入されていますか。(○は1つだけ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 既に加入している |
| 2 加入したいが、マンションやアパートなど集合住宅なので加入できない |
| 3 加入していないが、サービス内容の説明があれば加入を検討したい |
| 4 加入しておらず、今後も加入する意向はない |
| 5 その他() |

「問18」 あなたがICTの活用で困っていることや不便に感じることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 携帯電話やスマートフォンの操作 |
| 2 登録や手続など、利用手順が複雑でサービスの使い方が分からない |
| 3 困ったときに気軽に相談できる人や場所がない |
| 4 自分で調べたり、家族など周囲の人から教えてもらえるので特に困ることはない |
| 5 その他() |

4. 健康についておたずねします

≪問19≫ あなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|--------|-------|
| 1 良い | 2 まあ良い | 3 ふつう |
| 4 あまり良くない | 5 良くない | |

≪問 20≫ あなたは「健康寿命^{けんこうじゅみょう}」という言葉をご存じですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 知っている | 2 聞いたことはあるが意味は知らない |
| 3 知らない(この調査で初めて知った) | |

≪問 21≫ あなたは、普段朝食を食べていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 ほとんど毎日食べる | 2 週4～5日食べる |
| 3 週2～3日食べる | 4 ほとんど食べない |

≪問 22≫ あなたは、「主食・主菜・副菜^{しゅしょく しゅさい ふくさい}」※の3つをそろえて食べることが1日2回以上ある日が、週に何日ありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|----------|
| 1 ほとんど毎日 | 2 週4～5日 |
| 3 週2～3日 | 4 ほとんどない |

※主食・主菜・副菜

「主食」：米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。

「主菜」：魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主として良質たんぱく質や脂肪の供給源となるものです。

「副菜」：野菜などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う重要な役割を果たしています。

≪問 23≫ あなたご自身の歯は24本以上ありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

≪問 24≫ あなたの歯や口について次の症状がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 特に症状はない | 2 歯ぐきが腫れることがある |
| 3 歯が痛んだり、しみることもある | 4 歯ぐきから血が出る |
| 5 口臭が気になる | 6 その他() |

≪問 25≫ あなたは、日常生活の中で歩数を計ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 毎日計っている | 2 時々計ることがある |
| 3 計ったことがない | 4 その他() |

<問 25-1> 問 25 で「1・2」のいずれかに回答された方におたずねします。

あなたの一日の歩数は平均してどのくらいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 1,000歩未満 | 2 1,000歩以上～3,000歩未満 |
| 3 3,000歩以上～6,000歩未満 | 4 6,000歩以上～10,000歩未満 |
| 5 10,000歩以上 | 6 その他() |

「問 26」 あなたは、最近1か月間に、ストレスを感じましたか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|----------|-------------|
| 1 感じた | 2 感じなかった | 3 どちらともいえない |
|-------|----------|-------------|

「問 26-1」 「問 26」で「1」と回答された方におたずねします。

あなたのストレスの具体的な内容はどのようなことですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|------------|--------------|
| 1 勉強や仕事に関する事 | 2 友人や人との関係 | 3 生きがい・将来のこと |
| 4 自分の健康・病気に関する事 | 5 収入・家計・借金 | 6 子どもの教育 |
| 7 家族の介護 | 8 その他() | |

「問 27」 あなたには、最近3か月間で睡眠について次のようなことがありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 寝つきが悪い | 2 夜中に目がさめる |
| 3 朝早く目がさめる | 4 なかなか起きられない(目ざめが悪い) |
| 5 睡眠薬、精神安定剤やアルコールを使用する | 6 特別なことはない |
| 7 その他() | |

「問 28」 あなたには、しっかりと話を聞いてくれる人がいますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

「問 29」 あなたは、自分の住んでいる地域とのつながりは(お互いに助け合っていると思う気持ち)強いほうだと思われますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|--------------------|--------------|
| 1 強いほうだと思う | 2 どちらかといえば強いほうだと思う | 3 あまり強くないと思う |
| 4 強くないと思う | 5 その他() | |

「問 30」 あなたは、過去1年間に健康診断(基本健診、特定健康診査、人間ドック含む)を受けましたか。また、「1 受けた」と回答された方は受けた場所も回答してください。
(○は1つだけ)

- | | | |
|--------------|---------|----------|
| 1 受けた → 受診場所 | 1 市の健診 | 2 職場の健診 |
| 2 受けていない | 3 学校の健診 | 4 その他() |

「問 30-1」 「問 30」で「2」と回答された方におたずねします。

あなたが健診を受診しなかったのはどのような理由からですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 時間がとれない | 2 面倒だから |
| 3 その時、医療機関に入院や通院をしていたから | 4 結果が不安なため受けたくないから |
| 5 費用がかかるから | 6 移動手段がないから |
| 7 その他() | |

「問 31」 あなたは、血液検査や血圧値などの健診結果の見方をご存じですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|--------|----------|
| 1 知っている | 2 知らない | 3 その他() |
|---------|--------|----------|

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて、
令和2年9月15日(火)までに、ポストにご投函ください。

甲賀市市政に関する意識調査報告書

【環境・情報通信（ICT）・健康づくり領域】

令和 2 年 12 月
甲賀市

【目次】

I	調査の実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	調査票の配布・回収の状況	1
4	標本抽出計画と集計に当たっての整理事項	1
5	本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて	3
II	回答者の属性	4
III	調査結果	9
1	環境保全について	9
(1)	住んでいる地域周辺の現在の環境について	9
(2)	住んでいる地域周辺の、10年前と比べての変化	12
(3)	環境保全推進のために、甲賀市が取り組むべき施策	13
(4)	「生ごみ堆肥循環化システム」の認知状況	15
(5)	「生ごみ堆肥循環化システム」への参加状況	16
(6)	「生ごみ堆肥循環化システム」に参加していない理由	17
(7)	「COOL CHOICE(クールチョイス)」の認知状況	18
2	ICT政策（情報通信技術）について	19
(1)	市が進めるICT政策（情報通信技術）で期待する役割・分野	19
(2)	ICTで暮らしが快適になったり、便利になっている実感	21
(3)	パソコンやスマートフォン等による行政サービスで利用したいもの	22
(4)	音声放送端末やあいコムこうかのサービスへの加入状況	23
(5)	ICTの活用で困っていることや不便に感じること	25
3	健康について	27
(1)	健康状態	27
(2)	「健康寿命」の認知度	28
(3)	朝食の摂取状況	29
(4)	「主食・主菜・副菜」の3つをそろえて食べることが2回以上ある日の頻度	31
(5)	歯の24本以上の有無	32
(6)	歯や口の症状	33
(7)	日常生活で歩数を計る経験	34
(8)	最近1か月間のストレスの状況	36
(9)	最近3か月間の睡眠の状況	38
(10)	相談相手の有無	39
(11)	住んでいる地域とのつながり	40
(12)	過去1年間の健康診断の受診状況	42
(13)	健診結果の見方について	46

I 調査の実施概要

1 調査の目的

環境・情報通信(ICT)・健康づくり領域について、市民の意見や評価を、意識調査により統計的に把握し、今後の取り組みを推進するための基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

2 調査の設計

- 調査地域:甲賀市全域
- 調査対象:市内在住の16歳以上の男女
- 調査標本数:3,000人
- 調査抽出法:層化二段無作為抽出法(抽出台帳:住民基本台帳、旧町5地域別)
- 調査方法:郵送配布・郵送回収、またはインターネットによる回答
- 調査時期:令和2年9月1日～9月15日

3 調査票の配布・回収の状況

- 配布数:3,000件
 - 回収件数(率):1,368件(45.6%)
 - 有効回答数(率):1,367件(45.6%)
- うち郵送回収:1,173件(94.1%)、インターネット回答194件(15.6%)

4 標本抽出計画と集計に当たっての整理事項

① 標本抽出計画と集計母数(集計対象数)

今回の調査では、アンケート調査配布数(標本数)を市内5地域と母集団構成比に応じて配分した。地域別の回収率は甲賀地域が58.8%で最も多く、以下、信楽地域が50.8%、甲南地域が45.5%、土山地域が43.4%、水口地域が41.0%と続いている。すべての地域で前回調査よりも回収率が上がっている。

有効回答の構成比と母集団構成比をみると、有効回答の地域区分は母集団構成比に近い。

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
水口地域	34,797	44.7	1,340	44.7	550	40.2	41.0	34.9
土山地域	6,590	8.5	256	8.5	111	8.1	43.4	44.6
甲賀地域	8,684	11.2	335	11.2	197	14.4	58.8	48.2
甲南地域	17,704	22.7	683	22.8	311	22.8	45.5	41.2
信楽地域	10,085	13.0	386	12.9	196	14.3	50.8	40.5
不明・無回答	-	-	-	-	2	0.1	-	
合計	77,860	-	3000	-	1,367	100.0	45.6	39.5

年代別の回収率は60歳代が66.4%で最も多く、以下、70歳以上が57.7%、50歳代が46.1%、40歳代が35.1%、30歳代が34.5%、20歳代以下が26.0%と続いている。すべての年代で前回調査よりも回収率が高くなっている。

有効回答の構成比と母集団構成比をみると、有効回答は年齢層が高い構成であることがわかる。

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
20歳代以下	12,860	16.5	496	16.5	129	9.4	26.0	19.0
30歳代	10,170	13.1	391	13.0	135	9.9	34.5	30.5
40歳代	12,736	16.4	490	16.3	172	12.6	35.1	30.5
50歳代	11,224	14.4	432	14.4	199	14.6	46.1	38.9
60歳代	11,791	15.1	456	15.2	303	22.2	66.4	51.9
70歳以上	19,079	24.5	735	24.5	424	31.0	57.7	55.5
不明・無回答	-	-	-	-	5	0.4	-	-
合計	77,860	-	3000	-	1,367	100.0	45.6	39.5

② 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、本結果から甲賀市の16歳以上の人口(母集団)の意識や要望等を推定することができる。ただし、今回の結果が抽出調査のため、数字の誤差を考慮する必要がある。そこで、どの程度の誤差があるのかを以下の数式で求めた。

世論調査では、信頼度95%(同じ調査を対象を変えて行った場合に、100回中95回は同様の結果が得られると考えてもよい)の水準を求めることが一般的とされており、これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差を算出した。その結果、標本誤差=2.63%(小数第3位四捨五入)となり、母集団の回答は今回のアンケート調査結果の±2.63%の区間に95%の確率で存在すると言える。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

±1.96：信頼度95%の時の係数

N：母集団数（調査時点の甲賀市の16歳以上人口：77,860） n：標本数（有効回答数：1,367）

P：標本測定値0.5（50%（0.5）のときに最大となるため0.5で計算）

5 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

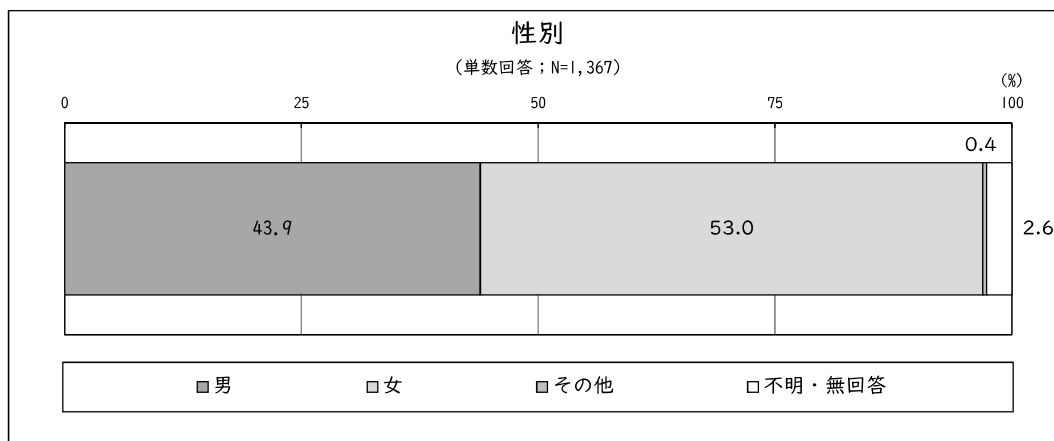
- ・ 回答結果は、各項目の不明を含む有効サンプル数に対する百分比(%)で示し、百分比は小数第2位を四捨五入して小数第1位までを表示しています。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの比率を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- ・ 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。
- ・ 図表中の「N」は集計対象者総数または、回答者限定設問の限定条件に該当者数を示している。

II 回答者の属性

① 性別

「問 1」 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

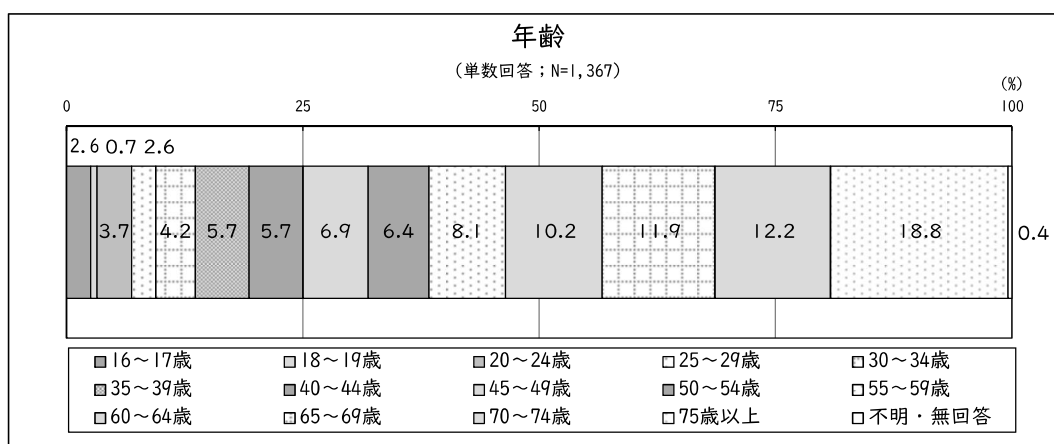
性別は、「男」が43.9%、「女」が53.0%、「その他」が0.4%となっている。



② 年齢

「問 2」 あなたの年齢は、9月1日現在でいくつですか。(○は1つだけ)

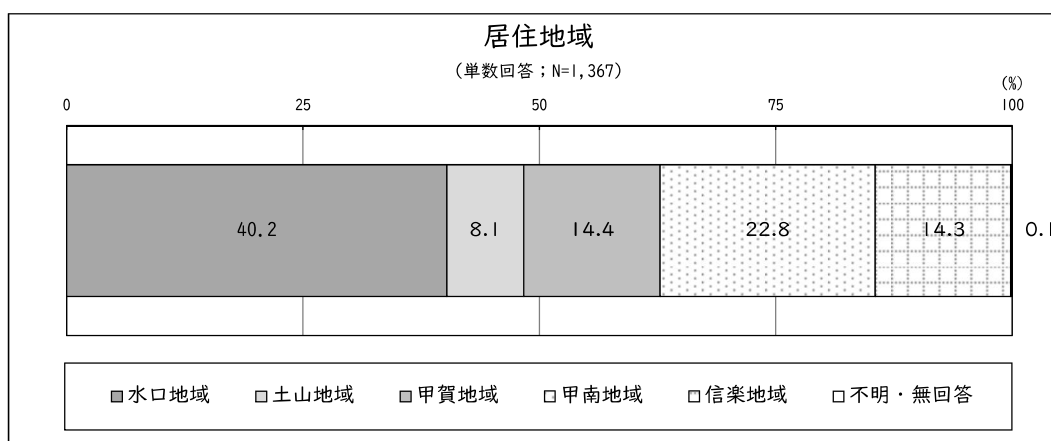
年齢は、「75歳以上」が18.8%で最も多くなっており、以下、「70～74歳」が12.2%、「65～69歳」が11.9%と続いている。



③ 居住地域

「問 3」 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○は1つだけ)

居住地域は、「水口地域」が 40.2%で最も多くなっており、以下、「甲南地域」が 22.8%、「甲賀地域」が 14.4%、「信楽地域」が 14.3%、「土山地域」が 8.1%と続いている。



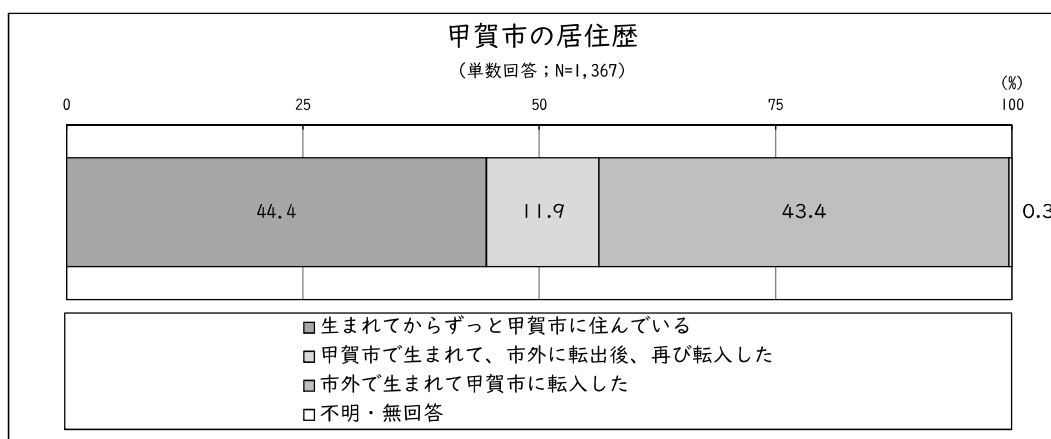
④ 甲賀市の居住歴

「問 4」 あなたは、いつから甲賀市にお住まいですか。(○は1つだけ)

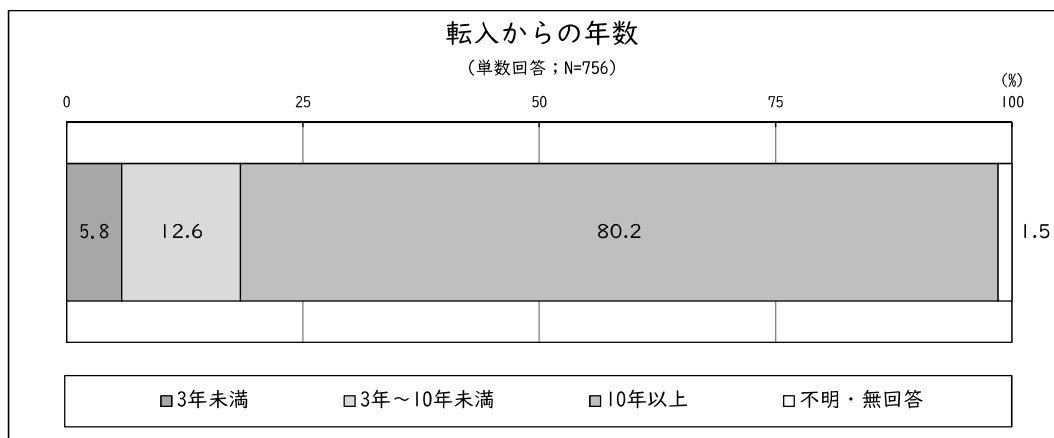
「問 4-1」 問4で「甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した」または「市外で生まれて甲賀市に転入した」と回答された方におたずねします。

あなたは、甲賀市に転入後、何年ぐらいになりますか。(○は1つだけ)

甲賀市の居住歴は、「生まれてからずっと甲賀市に住んでいる」が44.4%で最も多くなっており、以下、「市外で生まれて甲賀市に転入した」が 43.4%、「甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した」が 11.9%と続いている。



転入からの年数は、「10 年以上」が 80.2%で最も多くなっており、以下、「3 年～10 年未満」が 12.6%、「3 年未満」が 5.8%と続いている。



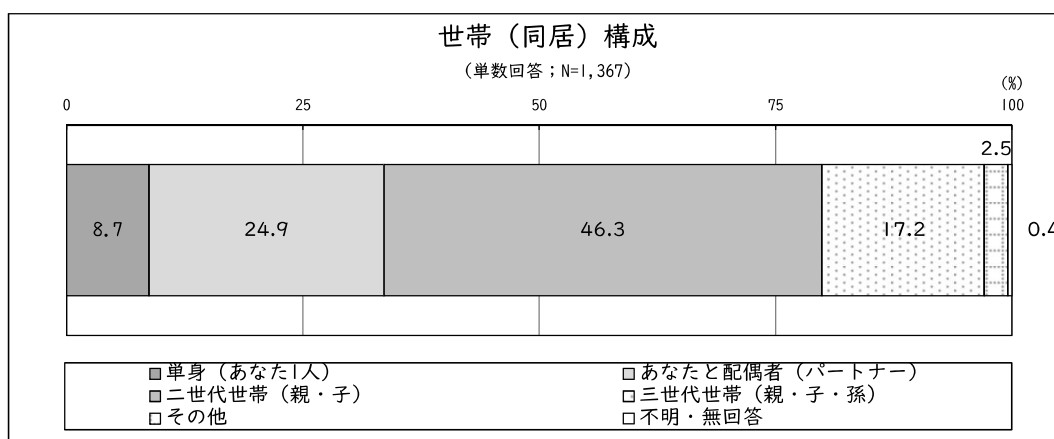
⑤ 世帯(同居)構成

＜問 5＞ あなたの世帯(同居)はどのような構成ですか。(○は1つだけ)

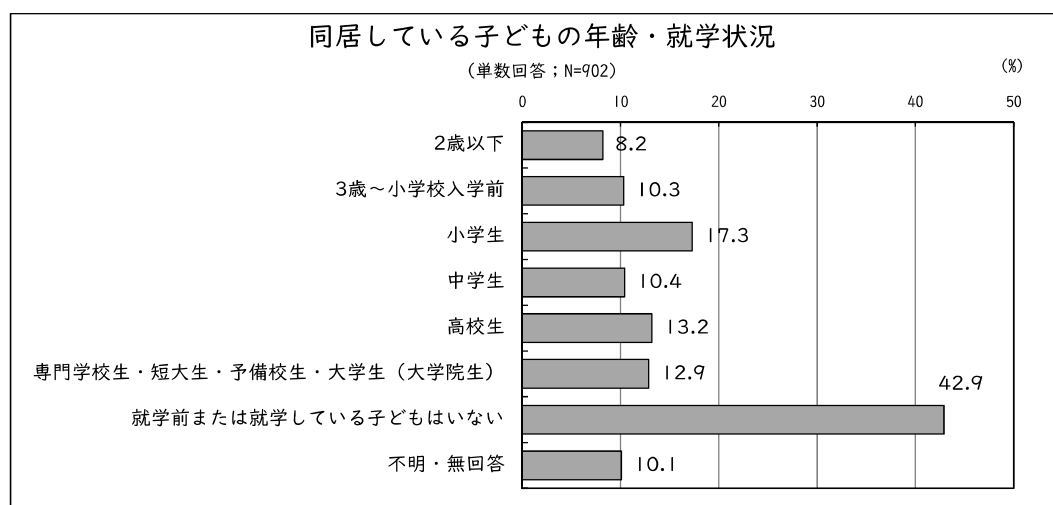
＜問 5-1＞ 問5で「二世世代世帯(親・子)」「三世世代世帯(親・子・孫)」「その他」のいずれかに回答された方におたずねします。

あなたに、就学前または就学しているお子様・お孫様(同居)はおられますか。
(あてはまるものすべてに○)※別居されているお子様・お孫様は含みません

世帯(同居)構成は、「二世世代世帯(親・子)」が 46.3%で最も多くなっており、以下、「あなたと配偶者(パートナー)」が 24.9%、「三世世代世帯(親・子・孫)」が 17.2%と続いている。



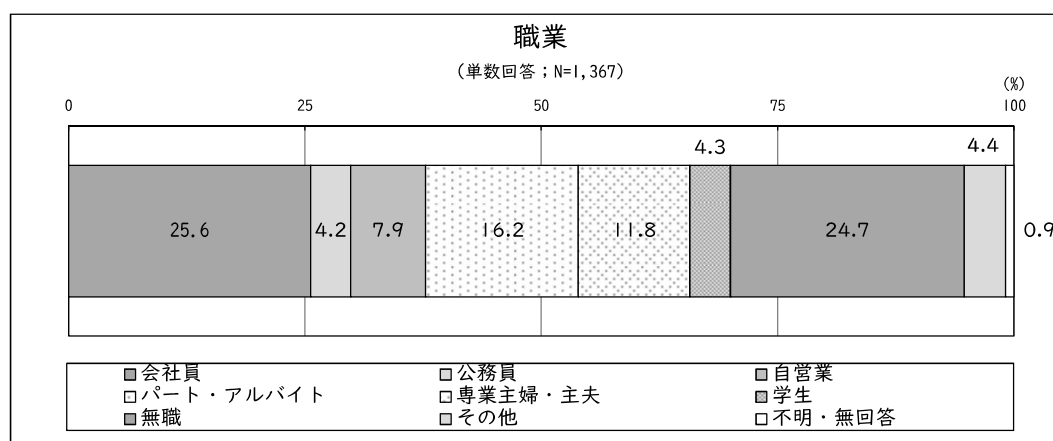
同居している子どもの年齢・就学状況は、「就学前または就学している子どもはいない」が 42.9%で最も多くなっており、以下、「小学生」が 17.3%、「高校生」が 13.2%と続いている。



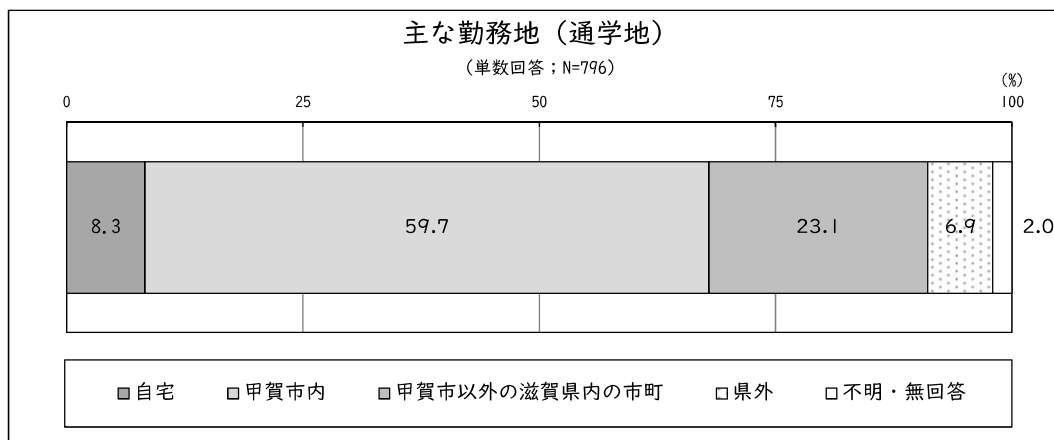
⑥ 職業

《問 6》 あなたはどのようなご職業等ですか。(○は1つだけ)
 <問6-1> 問6で「会社員」「公務員」「自営業」「パート・アルバイト」「学生」のいずれかに回答された方におたずねします。
 あなたの主な勤務地(通学地)はどちらですか。(○は1つだけ)

職業は、「会社員」が 25.6%で最も多くなっており、以下、「無職」が 24.7%、「パート・アルバイト」が 16.2%と続いている。



主な勤務地(通学地)は、「甲賀市内」が 59.7%で最も多くなっており、以下、「甲賀市以外の滋賀県内の市町」が 23.1%、「自宅」が 8.3%、「県外」が 6.9%と続いている。



III 調査結果

1 環境保全について

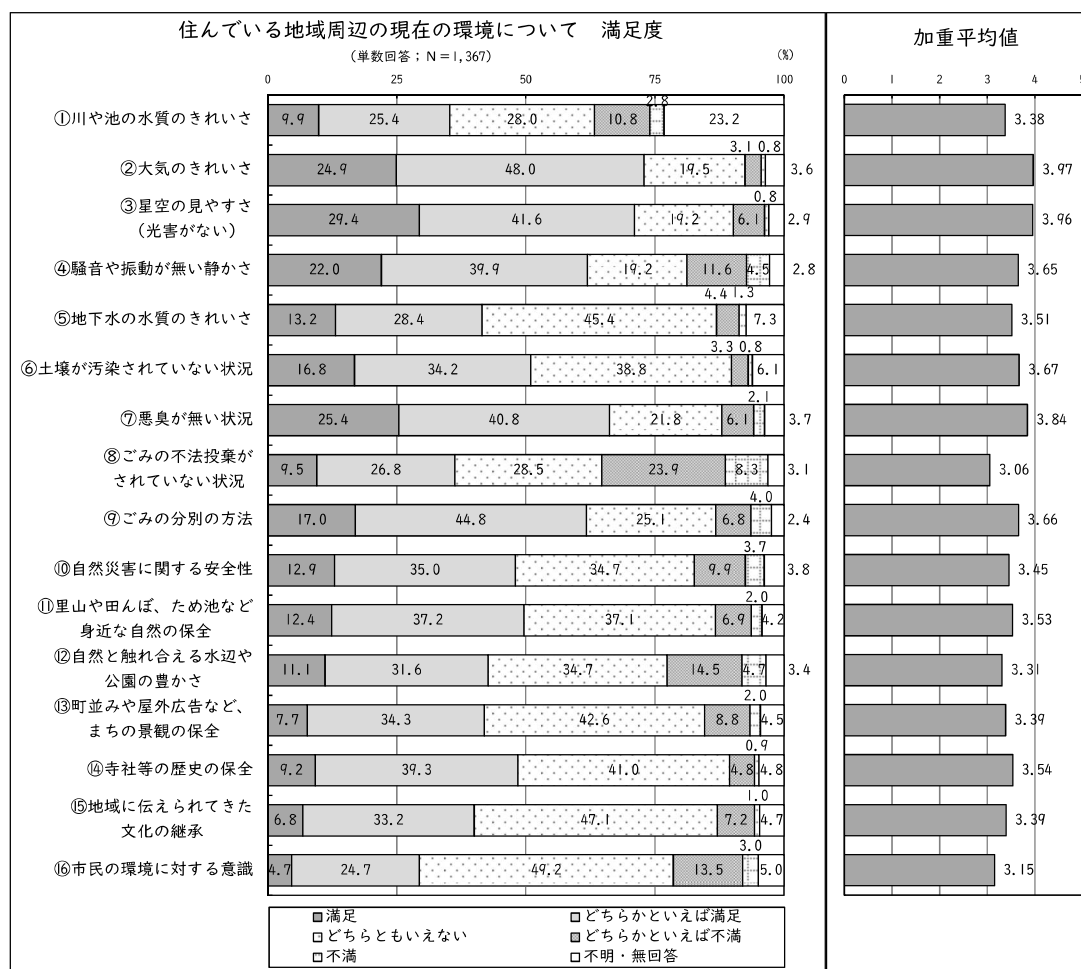
(1) 住んでいる地域周辺の現在の環境について

《問 7》 あなたが住んでいる地域周辺の現在の環境について、あなたの「満足度」と「重要度」についておたずねします。それぞれの項目について、あなたの満足度合い、重要度合いに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

① 満足度

住んでいる地域周辺の現在の環境について、「満足」の割合が最も多いのは「星空の見やすさ(光害がない)」で29.4%、以下、「悪臭が無い状況」が25.4%、「大気の手れい」が24.9%と続いている。「不満」の割合が最も多いのは、「ごみの不法投棄がされていない状況」で8.3%、以下、「自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ」が4.7%、「騒音や振動がない静けさ」が4.5%と続いている。

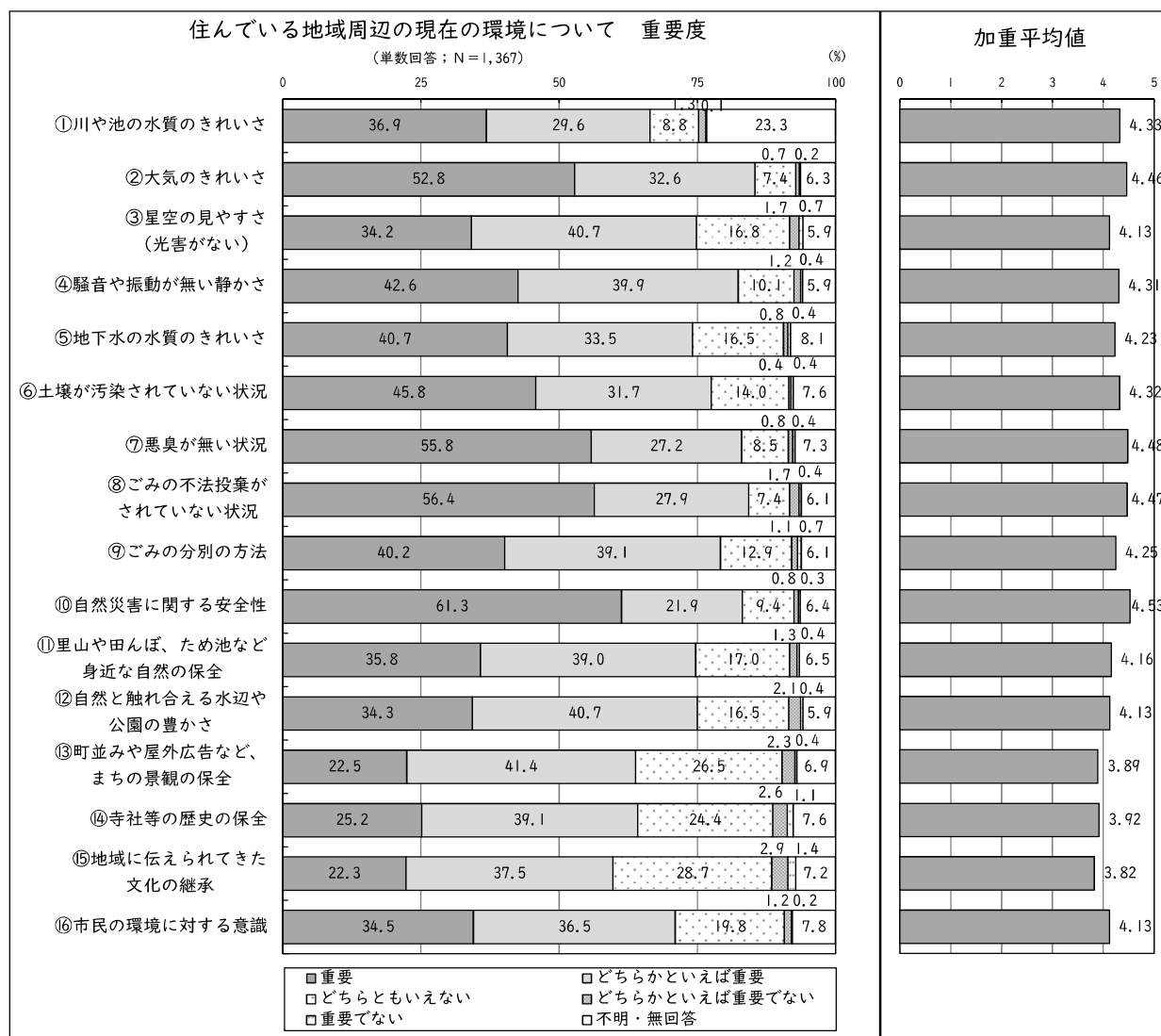
「満足」を5点、「どちらかといえば満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満」を2点、「不満」を1点とした場合の加重平均値をみると、最も高いのは「大気の手れいさ」で3.97点、以下、「星空の見やすさ(光害がない)」が3.96点、「悪臭が無い状況」が3.84点と続いている。最も低いのは「ごみの不法投棄がされていない状況」で3.06点、以下、「市民の環境に対する意識」が3.15点、「自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ」が3.31点と続いている。



② 重要度

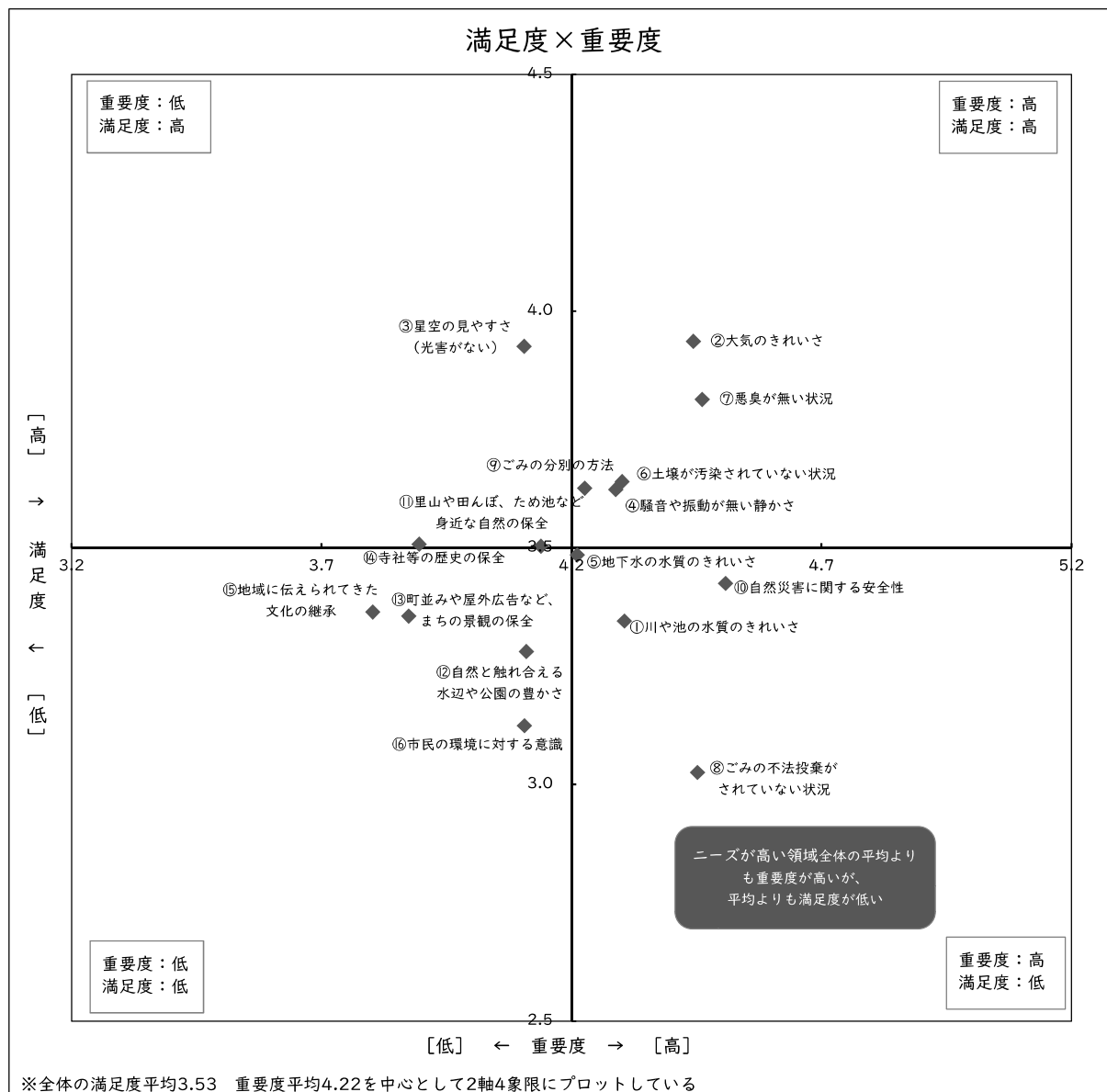
住んでいる地域周辺の現在の環境について、「重要」の割合が最も多いのは「自然災害に関する安全性」で 61.3%、以下、「ごみの不法投棄がされていない状況」が 56.4%、「悪臭が無い状況」が 55.8%と続いている。

「重要」を 5 点、「どちらかといえば重要」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「どちらかといえば重要でない」を 2 点、「重要でない」を 1 点とした場合の加重平均値をみると、最も高いのは「自然災害に関する安全性」で 4.53 点、以下、「悪臭が無い状況」が 4.48 点、「ごみの不法投棄がされていない状況」が 4.47 点と続いている。



③ 満足度と重要度の関係

満足度を縦軸、重要度を横軸とし、全項目の加重平均値の平均を原点とした 2 次元上にそれぞれを配置した場合、「川や池の水質のきれいさ」「地下水の水質のきれいさ」「ごみの不法投棄がされていない状況」「自然災害に関する安全性」の 4 項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。

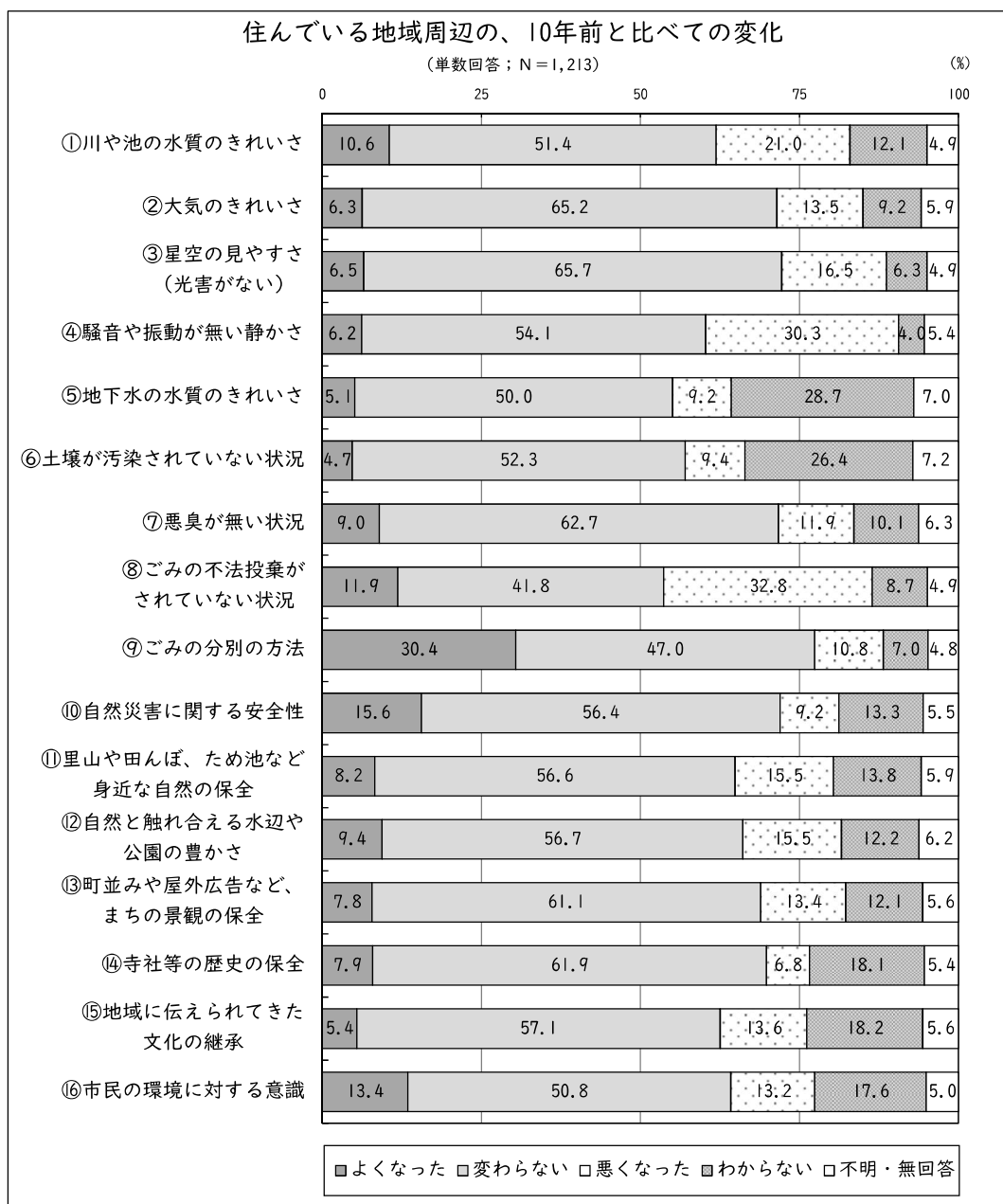


(2) 住んでいる地域周辺の、10 年前と比べての変化

《問 8》 現在の住所に10年以上お住まいの方におたずねします。
あなたの住む地域周辺の状況は、10年前と比べてどう変わりましたか。各項目について、あなたのお考えに近い番号に○をそれぞれ1つつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

住んでいる地域周辺の、10 年前と比べての変化について、「よくなった」の割合をみると、最も多いのは「ごみの分別の方法」で30.4%、以下、「自然災害に関する安全性」が15.6%、「市民の環境に対する意識」が13.4%と続いている。

「悪くなった」の割合をみると、最も多いのは「ごみの不法投棄がされていない状況」で 32.8%、以下、「騒音や振動が無い静かさ」が30.3%、「川や池の水質のきれいさ」が21.0%と続いている。



(3) 環境保全推進のために、甲賀市が取り組むべき施策

「問 9」 あなたは、環境保全を推進するために、今後甲賀市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

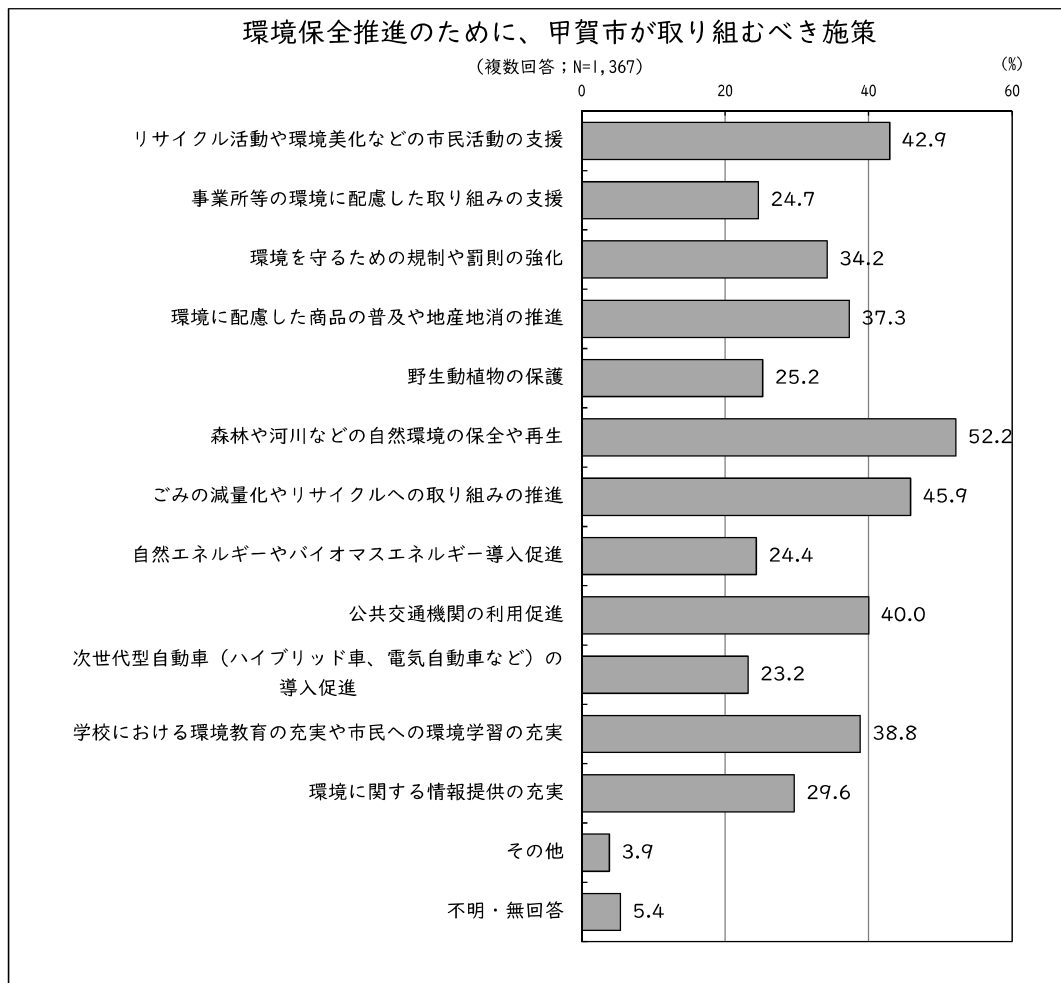
環境保全推進のために、甲賀市が取り組むべき施策は、「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が 52.2%で最も多くなっており、以下、「ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進」が 45.9%、「リサイクル活動や環境美化などの市民活動の支援」が 42.9%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が最も多くなっている。また、男性は「環境を守るための規制や罰則の強化」「次世代型自動車(ハイブリッド車、電気自動車など)の導入促進」「環境に関する情報提供の充実」が女性よりも多くなっている。

年代別にみると、30 歳代では「学校における環境教育の充実や市民への環境学習の充実」が、他の年代では「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が最も多くなっている。また、40 歳代以下では「リサイクル活動や環境美化などの市民活動の支援」「ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進」「公共交通機関の利用促進」が他の年代よりも少なく、60 歳代以上では「リサイクル活動や環境美化などの市民活動の支援」が他の年代よりも多く、70 歳以上では「ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進」「公共交通機関の利用促進」が他の年代よりも多くなっている。

居住地域別にみると、すべての居住地域で「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が最も多くなっている。また、土山地域では「自然エネルギーやバイオマスエネルギー導入促進」「公共交通機関の利用促進」「次世代型自動車(ハイブリッド車、電気自動車など)の導入促進」「学校における環境教育の充実や市民への環境学習の充実」が他の地域よりも少なく、甲賀地域では「ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進」が他の地域よりも多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴で「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が最も多くなっている。また、10 年未満では他の居住歴よりも「野生動植物の保護」「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が多く、「リサイクル活動や環境美化などの市民活動の支援」「事業所等の環境に配慮した取り組みの支援」「環境を守るための規制や罰則の強化」「ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進」「自然エネルギーやバイオマスエネルギー導入促進」「公共交通機関の利用促進」が少なくなっている。



	リサイクル活動や環境美化などの市民活動の支援	事業所等の環境に配慮した取り組みの支援	環境を守るための規制や罰則の強化	環境に配慮した商品の普及や地産地消の推進	野生動植物の保護	森林や河川などの自然環境の保全や再生	ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進	自然エネルギーやバイオマスエネルギー導入促進	公共交通機関の利用促進	次世代型自動車（ハイブリッド車、電気自動車など）の導入促進	学校における環境教育の充実や市民への環境学習の充実	環境に関する情報提供の充実	その他	不明・無回答
全体 (N=1,367)	42.9	24.7	34.2	37.3	25.2	52.2	45.9	24.4	40.0	23.2	38.8	29.6	3.9	5.4
男 (N=600)	45.2	25.8	37.7	35.7	22.8	54.8	44.0	26.2	40.0	28.0	40.5	32.5	5.5	3.5
女 (N=725)	41.5	23.7	31.2	39.4	26.6	50.1	47.7	22.3	40.1	20.0	37.8	26.9	2.3	6.5
20歳以下 (N=129)	34.9	23.3	24.0	34.9	34.9	48.8	39.5	23.3	37.2	27.1	41.1	25.6	3.1	5.4
30歳代 (N=135)	32.6	22.2	29.6	30.4	23.0	48.1	33.3	23.7	31.1	23.7	49.6	23.7	3.7	5.9
40歳代 (N=172)	32.6	28.5	34.3	38.4	23.3	53.5	36.6	25.6	32.0	18.6	36.0	25.6	3.5	2.3
50歳代 (N=199)	42.2	27.6	33.7	41.2	30.7	50.8	50.3	25.6	35.2	26.1	38.7	34.7	5.0	2.5
60歳代 (N=303)	48.5	25.4	30.4	37.0	19.8	54.1	47.5	24.8	37.0	24.1	37.0	26.4	4.0	4.6
70歳以上 (N=424)	49.5	22.6	42.0	38.7	25.0	53.1	51.7	23.6	51.7	21.9	37.5	34.4	3.8	8.5
水口地域 (N=550)	38.4	26.4	34.4	38.7	23.6	50.7	43.5	24.9	41.3	23.3	41.3	29.8	3.8	4.5
土山地域 (N=111)	44.1	20.7	33.3	35.1	25.2	51.4	47.7	18.0	34.2	16.2	28.8	27.9	6.3	7.2
甲賀地域 (N=197)	45.2	20.8	31.0	35.0	26.4	54.3	51.3	21.8	39.6	22.8	40.1	32.0	3.0	7.6
甲南地域 (N=311)	46.0	23.8	35.4	37.9	25.4	52.4	46.3	28.0	42.1	27.3	39.2	28.9	3.2	4.2
信楽地域 (N=196)	48.5	27.6	36.2	36.2	28.1	54.1	45.4	23.0	37.2	20.9	36.2	29.1	4.6	6.1
3年未満 (N=44)	36.4	11.4	25.0	47.7	27.3	59.1	34.1	13.6	29.5	11.4	36.4	38.6	9.1	2.3
3年～10年未満 (N=95)	30.5	22.1	27.4	27.4	31.6	53.7	35.8	24.2	24.2	28.4	41.1	24.2	4.2	6.3
10年以上 (N=1,213)	44.3	25.4	34.9	37.9	24.6	51.9	47.1	24.9	41.6	23.4	39.0	29.8	3.6	5.4

(4) 「生ごみ堆肥循環化システム」の認知状況

「問 10」 あなたは、「生ごみ堆肥循環化システム」という取り組みをご存知ですか。(○は1つだけ)

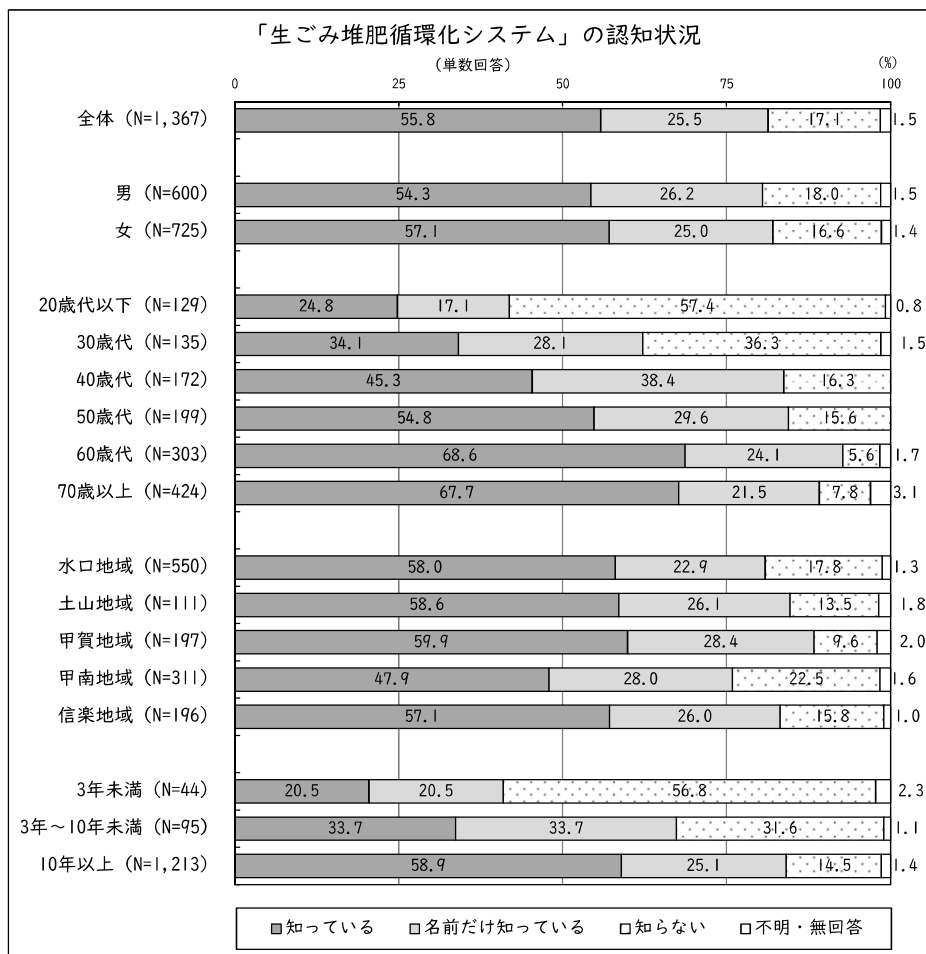
「生ごみ堆肥循環化システム」の認知状況について、「知っている」が55.8%で最も多くなっており、「知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『認知している』の割合は81.3%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「知っている」が最も多くなっている。また、『認知している』の割合をみると、男性が80.5%、女性が82.1%となっている。

年代別にみると、30 歳代以下は「知らない」が、40 歳代以上は「知っている」が最も多くなっている。また、『認知している』の割合をみると、最も多いのは60 歳代で92.7%、以下、70 歳以上が89.2%、50 歳代が84.4%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域で「知っている」が最も多くなっている。また、『認知している』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で88.3%、以下、土山地域が84.7%、信楽地域が83.1%、水口地域が80.9%、甲南地域が75.9%と続いている。

甲賀市の居住歴別にみると、3 年未満は「知らない」が、「3 年～10 年未満」は「知っている」「名前だけ知っている」が、「10 年以上」は「知っている」が最も多くなっている。また、『認知している』の割合をみると、最も多いのは10 年以上で84.0%、以下、3 年～10 年未満が67.4%、3 年未満が41.0%と続いている。



(5) 「生ごみ堆肥循環化システム」への参加状況

「問 11」 あなたは、「生ごみ堆肥循環化システム」に参加されていますか。(○は1つだけ)

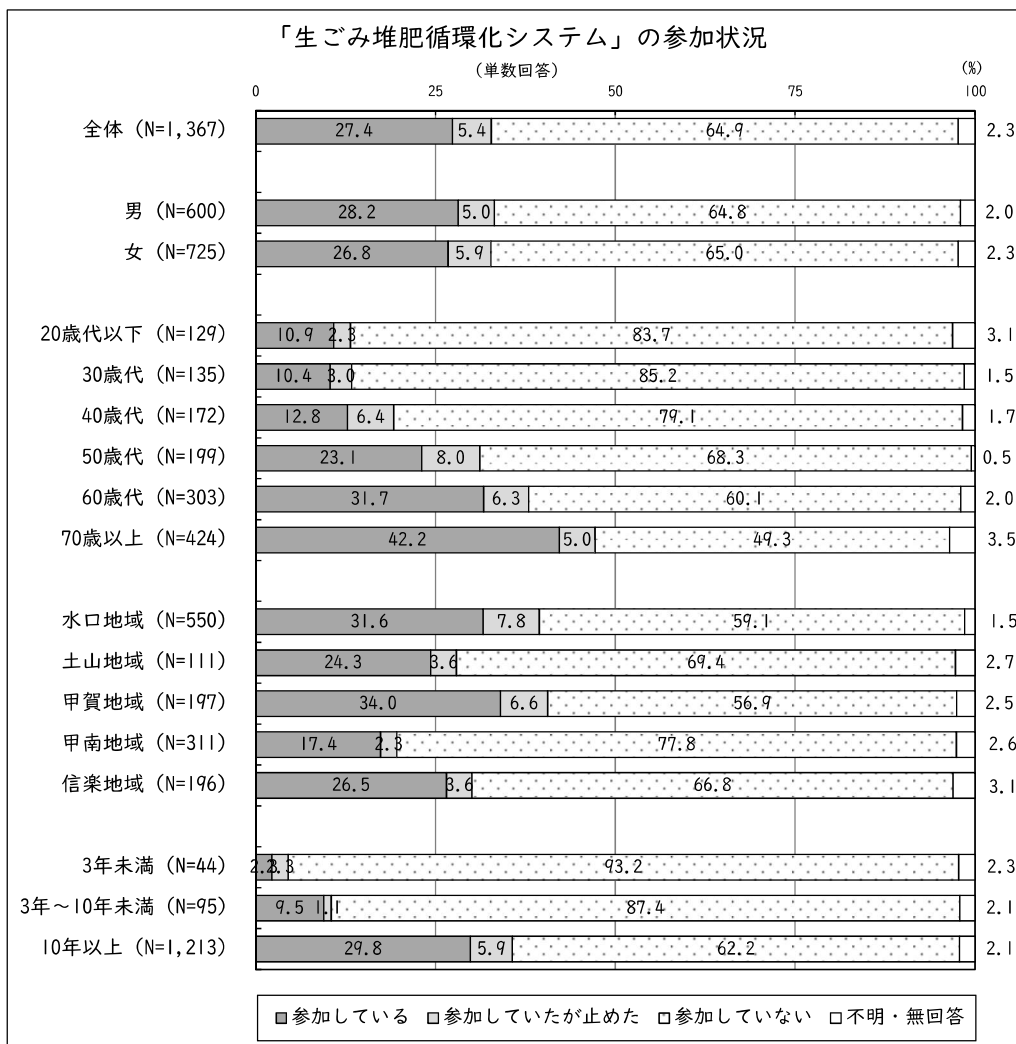
「生ごみ堆肥循環化システム」の参加状況について、「参加していない」が 64.9%で最も多くなっており、以下、「参加している」が 27.4%、「参加していたが止めた」が 5.4%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「参加していない」が最も多くなっている。また、「参加している」の割合は男性が 28.2%、女性が 26.8%となっている。

年代別にみると、すべての年代において「参加していない」が最も多くなっている。また、「参加している」の割合が最も多いのは 70 歳以上で 42.2%、以下、60 歳代が 31.7%、50 歳代が 23.1%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「参加していない」が最も多くなっている。また、「参加している」の割合が最も多いのは甲賀地域で 34.0%、以下、水口地域が 31.6%、信楽地域が 26.5%、土山地域が 24.3%、甲南地域が 17.4%と続いている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「参加していない」が最も多くなっている。また、「参加している」の割合が最も多いのは 10 年以上で 29.8%、以下、3 年～10 年未満が 9.5%、3 年未満が 2.3%と続いている。



(6) 「生ごみ堆肥循環化システム」に参加していない理由

「問 12」 問 11で「参加していたが止めた」「参加していない」のいずれかに回答された方におたずねします。あなたが参加されていないのはどのような理由からですか。(○は1つだけ)

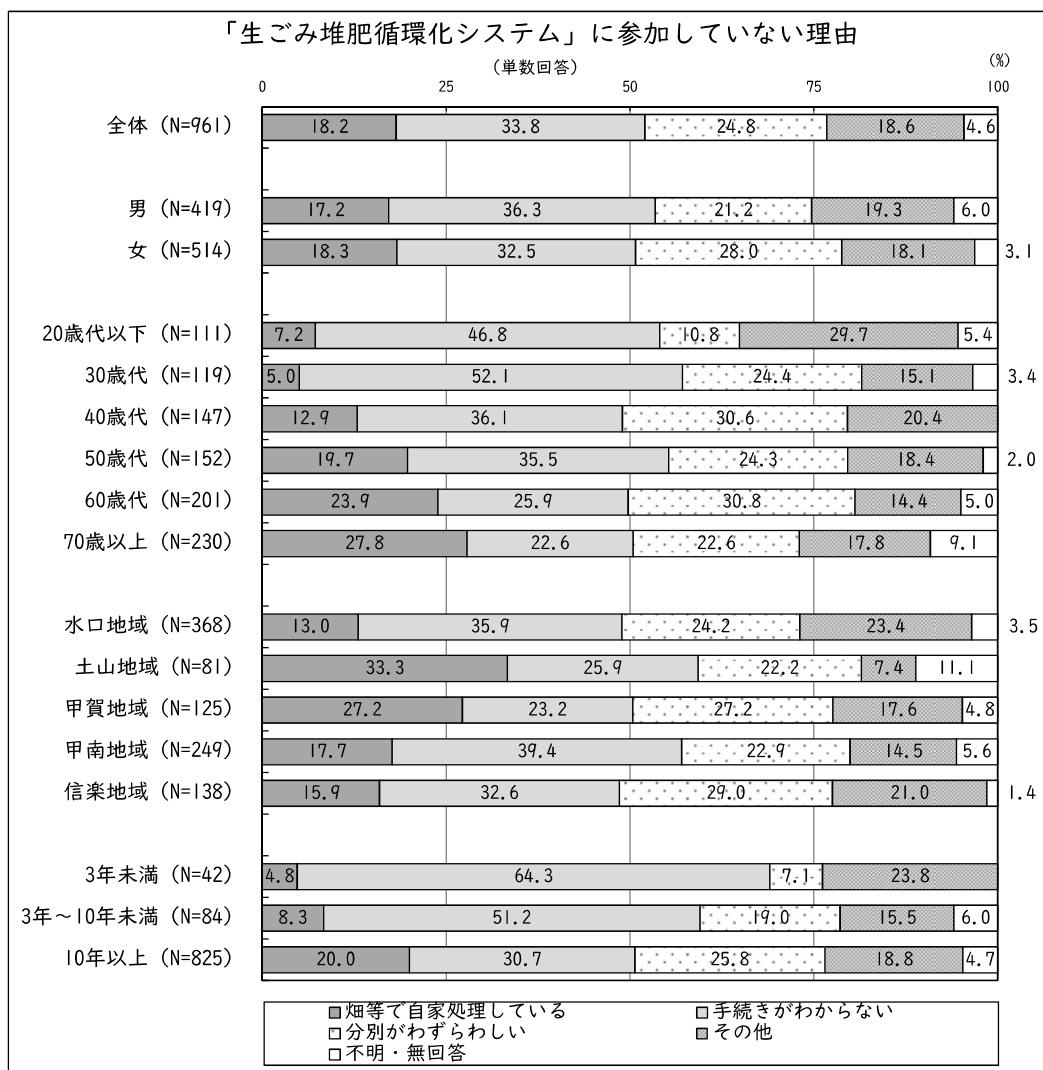
「生ごみ堆肥循環化システム」に参加していない理由は、「手続きがわからない」が 33.8%で最も多くなっており、以下、「分別がわずらわしい」が 24.8%、「畑等で自家処理している」が 18.2%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「手続きがわからない」が最も多くなっている。また、女性は「分別がわずらわしい」が多くなっている。

年代別にみると、50 歳代以下は「手続きがわからない」が、60 歳代は「分別がわずらわしい」が、70 歳以上は「畑等で自家処理している」が最も多くなっている。

居住地域別にみると、水口地域、甲南地域、信楽地域は「手続きがわからない」が、土山地域は「畑等で自家処理している」が、甲賀地域は「畑等で自家処理している」「分別がわずらわしい」が最も多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「手続きがわからない」が最も多くなっている。また、10 年未満では「畑等で自家処理している」「分別がわずらわしい」が少なくなっている。



(7) 「COOL CHOICE(クールチョイス)」の認知状況

「問 13」 あなたは、「COOL CHOICE(クールチョイス)」という取組みをご存知ですか。
(○は1つだけ)

「COOL CHOICE(クールチョイス)」の認知状況について、「聞いたことがない(今回はじめて知った)」が79.1%で最も多く、なっており、以下、「名前だけ知っている」が11.3%、「詳しく知っている」が5.9%と続いている。「詳しく知っている」と「少し知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『認知している』の割合は17.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「聞いたことがない(今回はじめて知った)」が最も多くなっている。また、『認知している』の割合をみると、男性が19.0%、女性が15.5%となっている。

年代別にみると、すべての年代において「聞いたことがない(今回はじめて知った)」が最も多くなっている。また、『認知している』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で20.7%、以下、60歳代が17.9%、40歳代が16.8%と続いている。

居住地域別にみると、すべての地域において「聞いたことがない(今回はじめて知った)」が最も多くなっている。また、『認知している』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で25.4%、以下、土山地域が24.3%、信楽地域が16.3%、水口地域が16.0%、甲南地域が13.5%と続いている。

